

ように把握・評価し、市が5000万円を適当と判断したのか。

【答弁】令和5年度の指定管理開始以降、医療法人仁誠会では稼働率の上昇、救急車受け入れの増加、休床病床の再開など収益アップの取り組みを行いながら、委託業務見直しによるサービスの向上と委託費の抑制、電力会社の切り換えによる光熱費の抑制などを実施し、費用削減に取り組んでいる。市ではそれらの取り組みや運営状況について、毎月開催している管理運営協議会の場で確認している。特に医業収益は徐々に上昇し、二つの取り組みが収益の増加につながったものと評価しており、病院を適切に維持し地域医療を守っていくために、エネルギー価格、物価の高騰は経営だけでは賄いきれないことから補助金が必要であると判断した。

◎令和7年度白石市一般会計
補正予算(第5号)

3億6355万9千円を増額し、予算総額を207億8491万3千円とする。

【歳出】

○物価高騰対策商品券配布事業

1億7091万1千円

○生活応援ポイント発行事業

3696万6千円

【質疑】物価高騰対策商品券配布事業の詳細は。

【答弁】国の重点支援地方交付金を財源に、令和8年1月1日現在で市内に住所を有する市民を対象に「生活応援商品券」ワンだふるクーポンを配布するもの。商品券の額は5千円とし、500円券10枚を、大規模店でも利用可能な共通券4枚、小規模店での特用券6枚に割り振り、約3万セットを令和8年2月から3月末までに、郵送により各世帯に配布したいと考えている。商品券の利用期間は令和8年4月1日から9月30日までの6か月間を予定している。

いる。

【質疑】しろいし生活応援ポイント発行事業の詳細は。

【答弁】物価高騰の影響を受ける市民を支援するため、みやぎ県民公式アプリ「ポケットサイン」に登録している市民と新たに登録する市民の合計1万2千人に1人あたり3千円分の「みやぎポイント」を発行するもの。1ポイント1円としてスーパーなどさまざまな店舗で使用でき食料品や日用品等を購入することによって物価高騰による市民の負担を軽減しようとするもの。「ポケットサイン」アプリには「みやぎポイント」のほか、防災、健康づくり、子育て支援などさまざまな場面で役立つ機能が備わっており、特に防災アプリは災害時に避難所の運営等に活用することで、市民の安全・安心と市の防災対策の向上が期待されることから、この機会に「ポケットサイン」の普及拡大にも併せて取り組んでいきたいと考えている。

市政に 対する 一般質問

〓〓10名の議員が質問〓〓

12月定例会の一般質問は、12月12日・15日の2日間にわたり行われました。質問の要旨は次のとおりです。

※二次元コードから各議員の質問動画へアクセスできます。

佐久間順子 少子化に伴う子育て支援のさらなる充実について

大内 卓也 本市のクマ対策について

四竈 英夫 クマ出没対策について

高子 秀明 学校再編計画と教育環境及び教育を受ける権利について

角張 大治 議会議員と首長の役割整理と制度理解の促進について

佐藤 龍彦 本市の孤独・孤立死対策について

大森 貴之 重点支援交付金・推奨事業メニューについて

澁谷 政義 クマの出没被害対策について

伊藤 勝美 財政の今後の見通しについて

村上 由紀 白石市博物館基本構想について